

授業科目名	パッケージデザイン		科目コード	105010	
開講クラス	情報システム科	コース	デザインクリエイターコース	学 年	1 年
担当教員	金田 麻琴		実務経験教員 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )		
	実務経験内容 印刷・Webの総合制作会社に9年勤務、デザイン・企画等に従事。その後IT企業に14年勤務、全国多岐のブランド・ECデザインに従事。現在DX推進企業に3年勤務。現場経験を活かし、即戦力となるための授業を行う。				
開講時期	前期・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期・通年・特別講義・その他		授業コマ数	45 時間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	1 単位	
使 用 テキスト1	書 名	色彩文化研究会			
	著 者	配色の教科書-歴史上の学者・アーティストに学ぶ「美しい配色」のしくみ			
	出版社	パイインターナショナル			
使 用 テキスト2	書 名	反響を呼ぶデザインのアイデア-SNSで話題の広告、売れるパッケージ、集客数を伸ばしたポスターなどを特集			
	著 者	パイインターナショナル(編集)			
	出版社	パイインターナショナル			
参考図書	担当教員の現場実務上の成果品(現実的かつ具体的な手法等を学ぶため)				
授業形態	講義 ・ 演習 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 実習				
<授業の目的・目標> ・Illustrator や Photoshop など各アプリケーションを活用し、学生自らが考えた商品のパッケージデザインを制作することで、「ゼロからアイデアを想起し可視化する」技術を身につけ、実践できるようになる ・前期デザイン論の発展応用としてパッケージデザインを行うことで、社会性やビジネス理解に基づいた即戦力たらしめる技術能力を体現できるようになる					
<授業の概要・授業方針> ・物事を俯瞰し整理、分析しアイデア想起するところから、アウトプットのための諸制作作業、そして戦略的な思考と、それを外向けに論じるためのプレゼンテーション、ここまで一連の現場実践的な流れを学生自ら実行することで、採用活動に生きる実績を身につけていただく ・各アプリケーションの基本的な操作方法も諸制作作業になぞらえてレクチャーし、より現場実践的な制作方法について知り、身につけていただく					
<成績基準・評価基準> 授業態度・出席・試験にて評価 100～80：優 ・ 79～70：良 ・ 69～60：可 ・ 59以下：不可					
<使用問題集・注意事項>					
<授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他>					

授業科目名		パッケージデザイン
回	授業内容	備考
1	科目オリエンテーション	
2	パッケージデザインのための各アプリケーションレクチャー	
3	〃	
4	〃	
5	〃	
6	〃	
7	〃	
8	〃	
9	〃	
10	パッケージデザインの最新事例分析	
11	実技テーマ説明（アウトプット品の指定および説明含む）	
12	各学生自らの制作テーマ構想・決定	
13	パッケージデザイン制作実施	
14	〃	
15	〃	
16	〃	
17	〃	
18	〃	
19	〃	
20	〃	
21	〃	
22	〃	
23	〃	
24	〃	
25	中間進捗報告	
26	〃	
27	〃	
28	〃	
29	〃	
30	〃	

回	授 業 内 容	備 考
31	//	
32	//	
33	//	
34	//	
35	//	
36	//	
37	パッケージデザイン制作発表	
38	//	
39	//	
40	科目終了オリエンテーション	
41	//	
42	//	
43	//	
44	//	
45	//	